

子どもの医療費助成の拡充は？



大森 正治 議員

町長 県の実施を期待する

【大森】医療費助成は、子育て上の安心の仕組みであり、子育て支援としても有効である。子育て世代の所得は減少し、家計はひっ迫している。

現在、中学3年生までの医療費助成を、高校3年生まで拡大してどうか。また、それに必要な予算は。

【町長】予算は約600万円必要だが、県が今後検討するという情報があり、実施に期待する。

【大森】窓口負担の無料化や軽減を検討しないか。

【町長】窓口負担530円を無償化した場合、約200万円必要になる。

かつて老人医療費が無償になったら、医療費が倍増した。同様のことが予想されるので、簡単にはできない。



人間ドックや集団健診の今後はいかに

ドックによる健診の充実は？

町長 集団・個別健診で対応する

【大森】平成27年度の受診者枠を大幅に減らすのは、健診事業の後退である。理由は。

【町長】国保会計の赤字を一般会計から補てんするならば、経費節減のため、人間ドックを縮小せざるをえない。

【大森】人間ドックを核にした健診を充実させる手立ては。

【町長】平成27年度は、胃カメラによる検診など、人間ドック以外の集団・個別健診の充実をはかる。

進出する喜楽鉱業は？

町長 廃油の中間貯蔵を行う

【大森】この企業の事業内容は。環境汚染の恐れはないか。

【町長】廃油の回収処理を行い、中間貯蔵を行う。国・県の環境基準、立地基準を満たしている。この企業は誘致ではなく、進出を申し出たものである。

【大森】進出に反対している阿弥陀川下流の集落には、どう対応するのか。

【町長】事業内容について説明を尽くし、公害防止協定を結ぶなど、理解してもらおうよう努める。



大山IC工業団地の進出予定地